

スマホやネット 正しく利用して

草津

小中学生を慶大生が指導

子どもたちにスマートフォンやインターネットの正しい利用方法を伝える「ネット・スマホ防犯セミナー」が9、10の両日、草津中で開かれた。9日は草津小の5、6年生と草津中の全生徒計230人が、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やネットです起きた実際のトラブルについて学んだ。

慶応義塾大の岡部正勝教授と同大サイバー防犯ボランティア研究会（伊谷陽祐代表）に属する学生6人が講師を務め、トラブルを未然に防ぐためのポイントを解説した。9日は①ネット上で知り合った他人と会わない②個人情報がかかる文章や写真をネットに載せないなどの具体的な注意点を紹介

し、「軽い気持ちでやったことが思わぬトラブルを引き起こす。気を付けて」と訴えた。中学生を対象にしたワークショップも行われ、1班4〜6人に分かれた生徒がSNSやネットのトラブルについて問題点を話し合った。参加者は「自分の身を守るために正しい利用方法を身に付けた」と話していた。セミナーは町社会福祉協議会と町教育委員会が主催。毎年12月の人権週間（4〜10日）に合わせて講演会などを企画している。



中学生を対象に行ったワークショップ